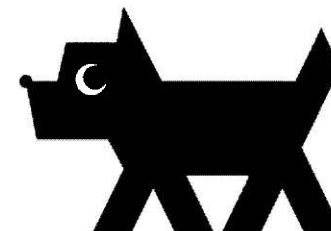




西日本フィナンシャルホールディングス 個人投資家さま向け会社説明会

2018年3月19日

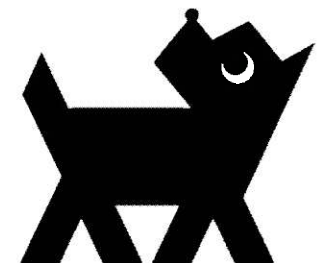


©GROOVISIONS

目次

1. 西日本FHグループの概要	P.2
2. 西日本FHグループの経営戦略	P.12
参考資料	P.31

1. 西日本FHグループの概要



西日本フィナンシャルホールディングス(FH)の会社概要




◆ 地元福岡・九州を中心に西日本全域で、ビジネス展開する総合金融グループ。

商号 (英文名)	株式会社 西日本フィナンシャルホールディングス (Nishi-Nippon Financial Holdings, Inc.)				
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号				
資本金	500億円				
設立日	2016年10月3日				
上場証券取引所	東京証券取引所第1部、福岡証券取引所本則市場 (証券コード7189)				
単元株式数	100株	連結従業員数	6,370名 (うち臨時従業員数2,083名)		
発行済株式総数	179,596千株	連結総資産額	9兆8,725億円		
格付情報		西日本FH	西日本シティ銀行	連結純資産額	5,146億円
	R&I	A (安定的)	A+ (安定的)	連結自己資本比率	9.05%
	JCR	A (安定的)	A (安定的)		

(2017年9月末現在)

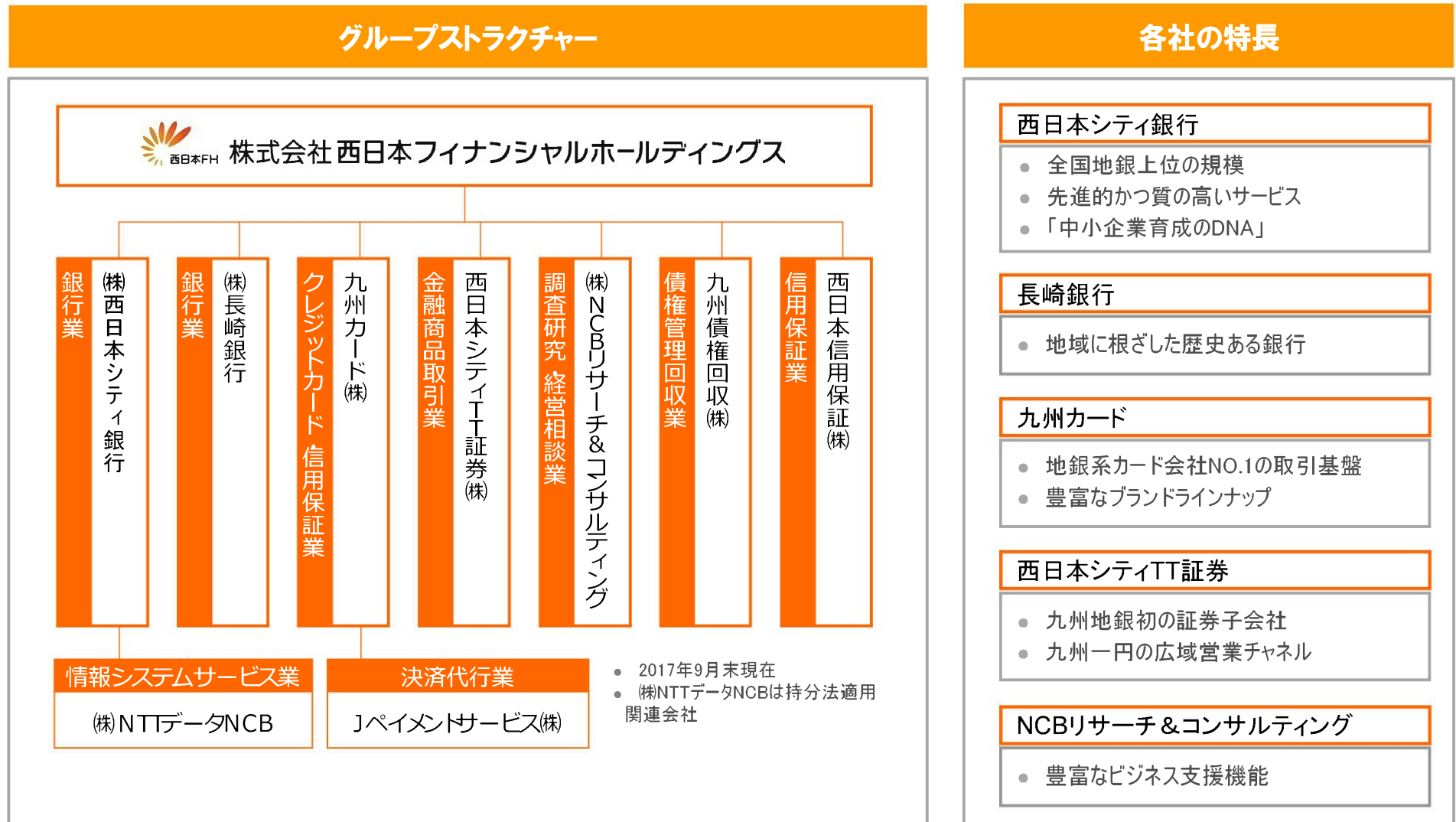
グループ経営理念・経営戦略

- ◆ 2016年10月、持株会社体制へ移行。「お客さまとともに成長する総合力No.1の地域金融グループ」を目指す。

<p>グループ経営理念</p>	<p>私たちは、高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する総合力No.1の地域金融グループを目指します。</p>
<p>グループ ブランドスローガン</p>	<p>ココロがある。コタエがある。</p>
<p>シンボルマーク</p>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>《シンボルマークに込めた意味》 このシンボルマークは、未来を拓くエネルギーである「太陽」と、躍動感あふれる「羽」をモチーフとしています。 放射状に伸びる羽は、無限に広がる未来を表現しています。さらに、淡いオレンジから深いオレンジへと変化を重ねる姿には、西日本FHグループを未来に向けて進化・変革させていこうという決意が込められています。</p> </div> </div>
<p>グループ経営戦略</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; width: 25%;"> <p>《マトリクス・マネジメント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ お客さまごとのニーズを起点として、持株会社がグループ全体を見渡した戦略を展開すること。 </div> <div style="text-align: center; width: 50%;"> <p>お客さま・地域の期待を超えた 総合金融サービスの展開 （「マトリクス・マネジメント」の実現）</p> <p>グループ経営管理態勢と リスク管理態勢の高度化 （「モニタリング・モデル」の実現）</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; width: 25%;"> <p>《モニタリング・モデル》</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 持株会社が子会社の事業執行状況を継続的に把握しながら、子会社に対する監督機能を発揮すること。 </div> </div>

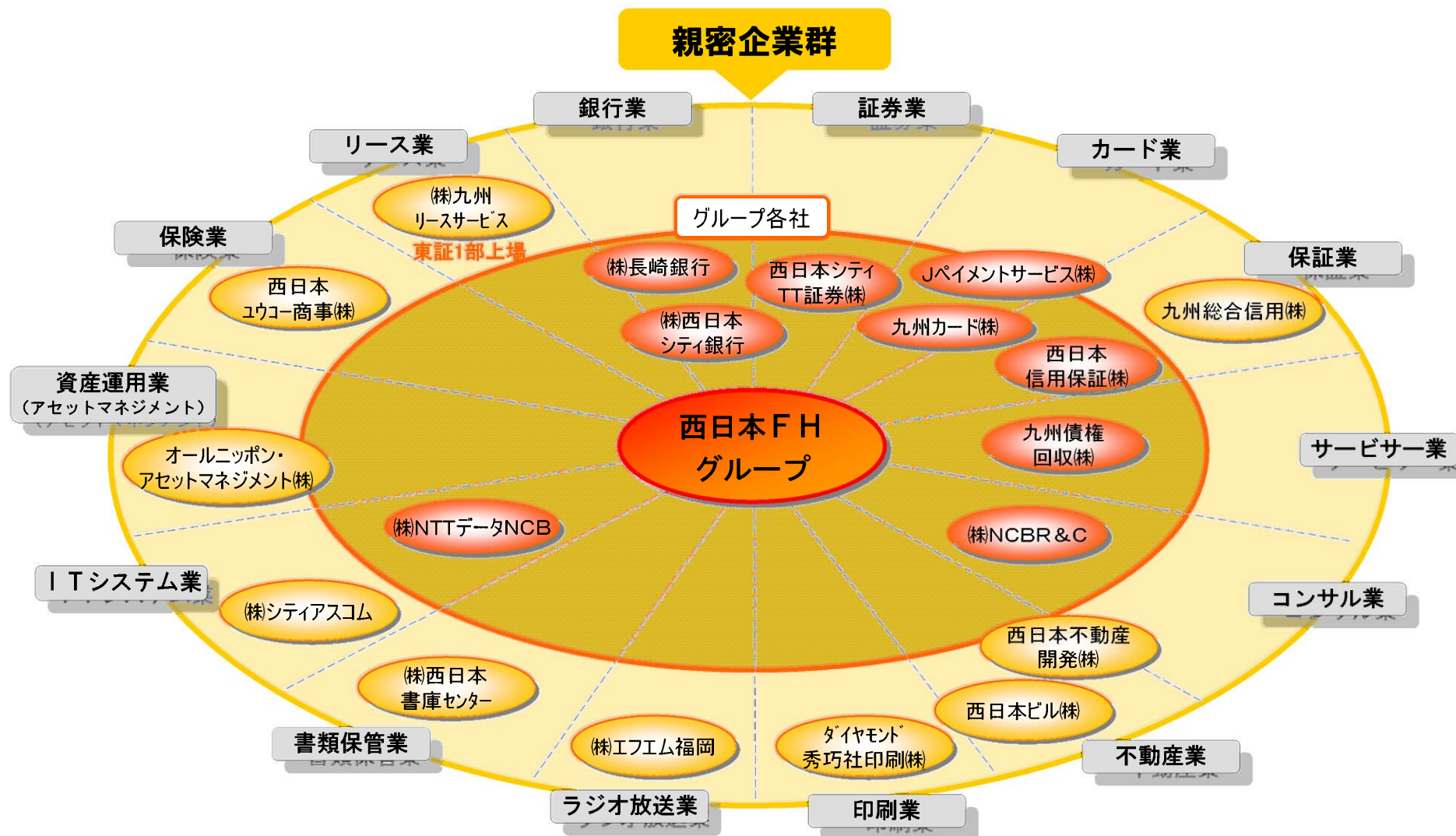
当社グループの強み(多様かつ特長あるグループ各社)

- ◆ 多様かつ特長あるグループ各社を持株会社の下に並べ、総合金融グループとしての強みを最大限発揮できる経営管理態勢を構築。



当社グループの強み(親密企業群)

- ◆ グループ各社に加え、歴史的・人的な繋がりが深い、有力な親密企業群とも連携し、お客さまのニーズに幅広く対応。



当社グループの強み(強固な基盤)

- ◆ 当社グループの中核である西日本シティ銀行は、全国地銀上位の規模と内容。
- ◆ 九州カードは、全国銀行系カード会社上位、地銀系ではNo.1の取引基盤。



全国地銀上位の規模

(2017年9月末、全国地銀64行中)

総資産	9兆6,103億円	6位
総貸出金残高	6兆7,307億円	5位
総預金残高	7兆5,836億円	6位

※ 出所: 全国地方銀行協会

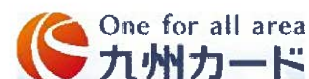
お取引先及び外部からの高い評価

九州・沖縄のメイン取引先数 **20,010社 2位**

※ 出所: 帝国データバンク「九州・沖縄地区のメインバンク調査(2018年2月)」

銀行リテール力(総合評価) **全国117行中 8位**

※ 出所: 日本経済新聞・日経リサーチ「銀行リテール力調査(2017年9月)」



全国銀行系カード会社上位の取引基盤

(2017年3月末、全国銀行系カード会社108社中)

カード取扱高	2,893億円	3位
会員数	877千人	2位
加盟店数	46千店	2位

全国銀行系カード会社の状況

(カード取扱高順。ブランド母体会社、銀行を除く)

	カード会社名	カード取扱高 (億円)	会員数 (千人)	加盟店数 (千店)
1	りそなカード(株)	6,835	1,583	28
2	(株)しんきんカード	3,051	832	91
3	九州カード(株) 地銀系No.1	2,893	877	46
4	(株)東京クレジットサービス	2,688	85	40
5	ちばぎんジェシービーカード(株)	2,113	101	19
6	(株)札幌北洋カード	1,655	29	31
7	(株)近畿しんきんカード	1,496	388	31
8	(株)中部しんきんカード	1,321	573	18
9	東京海上日動ファイナンス(株)	1,143	28	0
10	(株)名古屋カード	1,084	96	11

※ 出所: きんざい「月間消費者信用(2017年9月号)」より当社作成

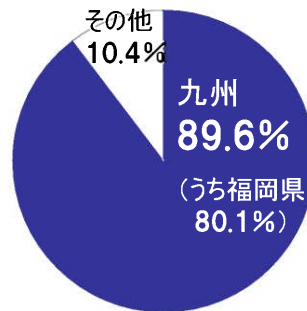
当社グループの強み(地元密着型金融)

- ◆ 西日本シティ銀行は、「地域の発展なくして当行の発展なし」との信念の下、貸出金の約9割が地元九州。
- ◆ 主力地域である福岡県の二大都市圏で高いプレゼンスを誇る。

地元への高い貸出比率

貸出金の地域別割合

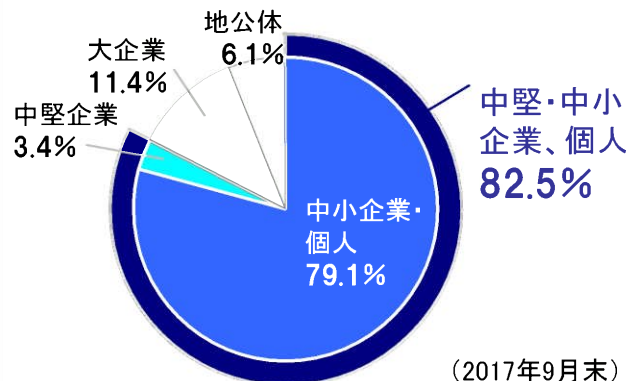
- 貸出金の約9割が九州、うち8割が福岡。



(2017年9月末)

貸出金の属性別内訳

- 貸出金の約8割が中堅・中小企業、個人向け。



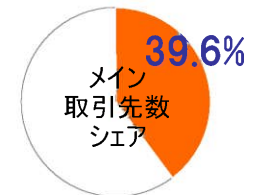
(2017年9月末)



福岡県内二大都市圏での高いプレゼンス

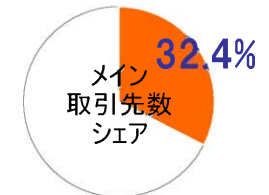
福岡都市圏の預貸金残高※1・メイン取引先数※2

預金残高	4兆1,768億円	2位
貸出金残高	3兆5,722億円	2位
メイン取引先数	10,932社	1位



北九州都市圏の預貸金残高※1・メイン取引先数※2

預金残高	1兆7,179億円	2位
貸出金残高	1兆2,272億円	1位
メイン取引先数	4,621社	1位

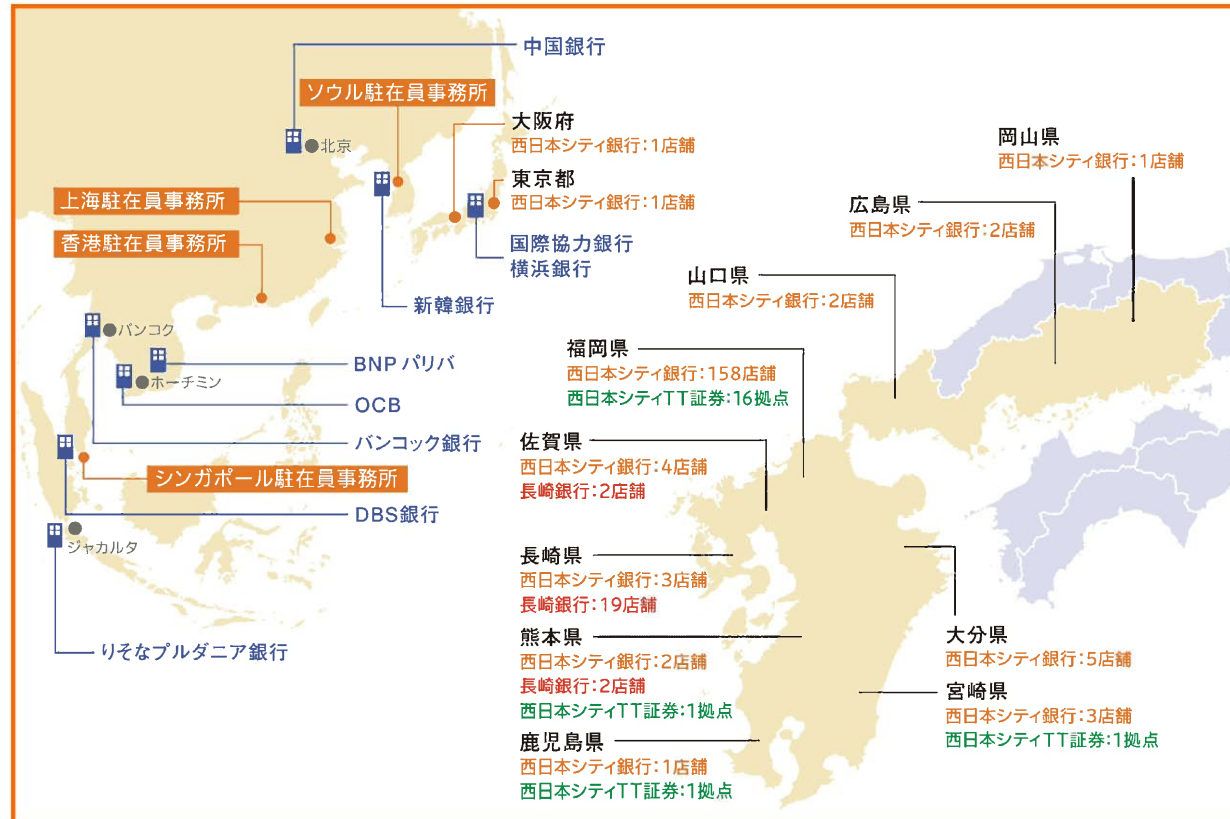


※1 出所: ニッキン資料(地銀、第二地銀、信金、信組、労金の店舗別計数(2017年9月))より当社作成

※2 出所: 帝国データバンク「九州・沖縄地区のメインバンク調査(2018年2月)」

当社グループの強み(国内外にわたる広範なネットワーク)

- ◆ 豊富な営業拠点、アジア・中央との強力なパイプにより、国内外にわたる広範なネットワークを構築。



【国内】
西日本シティ銀行
183店舗
 ATM 1,373台

長崎銀行
23店舗
 ATM 44台

西日本シティTT証券
19拠点

【海外】
西日本シティ銀行
駐在員事務所
4か所
 (上海・香港・ソウル・シンガポール)

2018年1月末現在

提携金融機関名	国	提携時期
りそなブルダニア銀行	インドネシア	1996年
中国銀行	中国	2001年
国際協力銀行	日本	
新韓銀行	韓国	2007年
OCB※	ベトナム	
BNPパリバ・ホーチミン支店	ベトナム	2008年
バンコック銀行	タイ	
横浜銀行	日本	2016年
DBS銀行	シンガポール	2017年

※ オリエンタコマースジョイントストックバンク

地元企業のニーズが高まるアセアンへの展開



シンガポール駐在員事務所の開設 [2017年3月30日]

- 現地の金融・経済・産業などの情報を発信し、お取引先の海外進出や販路・調達先開拓等を支援。

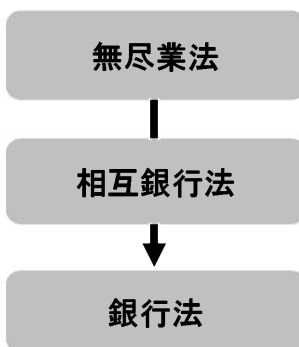


入居建物

当社グループの強み(「中小企業育成のDNA」)

◆ 原点は中小企業専門金融機関。創業以来、「中小企業育成のDNA」を承継。

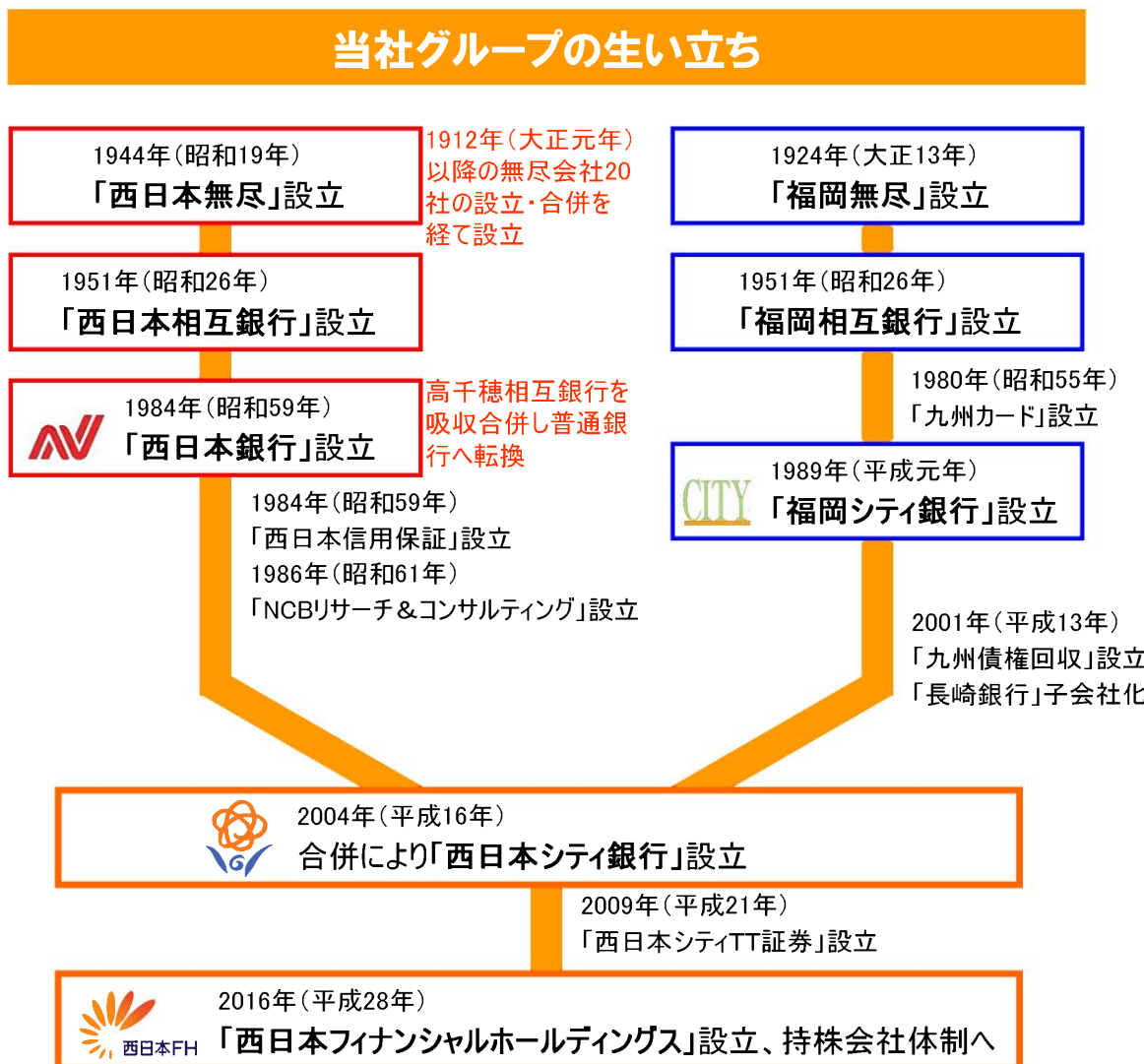
(設立根拠法)



- 相互銀行には、営業エリアの制限(1都道府県内)^{※1}及び融資対象の制限(従業員300人または資本金2億円以下^{※2}の中小企業者)といった業務範囲に関する法律上の制限があった。

※1 1968年(昭和43年)の法改正まで存続。

※2 資本金限度額は1973年(昭和48年)に4億円以下、1981年(昭和56年)に8億円以下に引き上げられた。



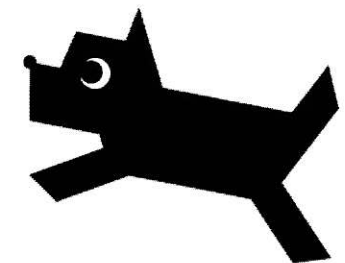
損益状況(足元の業績)

- ◆ 2018年3月期第3四半期までの親会社に帰属する純利益は179億円。
通期予想に対する進捗率は89.8%。

(全て連結計数、単位:億円)

	2017/3期 通期実績	2018/3期 3Q実績	前年同期比	2018/3期 通期予想
コア業務粗利益	1,183	909	+4	1,182
うち資金利益	949	731	+4	944
うち役務取引等利益	207	162	+3	
コア業務純益	355	290	△3	346
経常利益	338	276	△38	315
親会社株主に帰属する純利益	222	179	△37	200
信用コスト	44	22	+12	31

2. 西日本FHグループの経営戦略



福岡・九州経済の状況

- ◆ 福岡県は、人口・県内総生産が全国9位、事業所数が全国8位と全国上位の経済規模。
- ◆ 福岡市・北九州市では、今後も主要な再開発プロジェクトが目白押し。

福岡県は全国上位の経済規模

経済規模

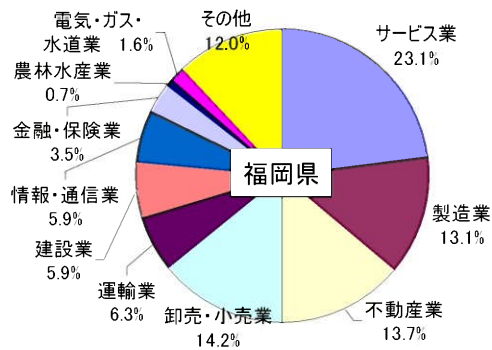
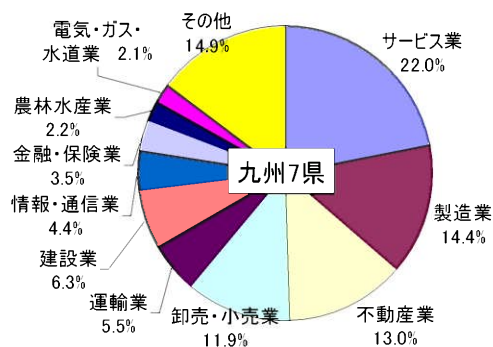
		九州7県				
		全国シェア	うち福岡県	全国シェア	全国順位	
人口	(千人)	12,967	5,104	4.0%	9位	
世帯数	(千世帯)	5,344	2,088	4.2%	9位	
事業所数	(千件)	619	233	3.9%	8位	
県内総生産	(億円)	438,760	181,122	3.5%	9位	
うち1次産業	(億円)	9,511	1,291	2.5%	13位	
うち2次産業	(億円)	91,398	34,683	2.8%	10位	
うち3次産業	(億円)	333,069	143,127	3.8%	8位	
本社を置く上場企業数	(社)	112	80	2.2%	6位	

※ 出所: 内閣府県民経済計算(2014年度)ほか

※ 出所: 当社調べ(2018年2月20日現在)

集積する多様な産業群

産業構成



※出所: 内閣府県民経済計算(2014年度)ほか

福岡市・北九州市での再開発事業

天神ビッグバン

- 福岡市天神地区の再開発プロジェクト。ビル容積率の緩和などの施策を展開。



福岡空港国内旅客ターミナルビル再整備事業

- 国内線滑走路の増設(2024年度)に向けて、空港施設を移転整備するプロジェクト。



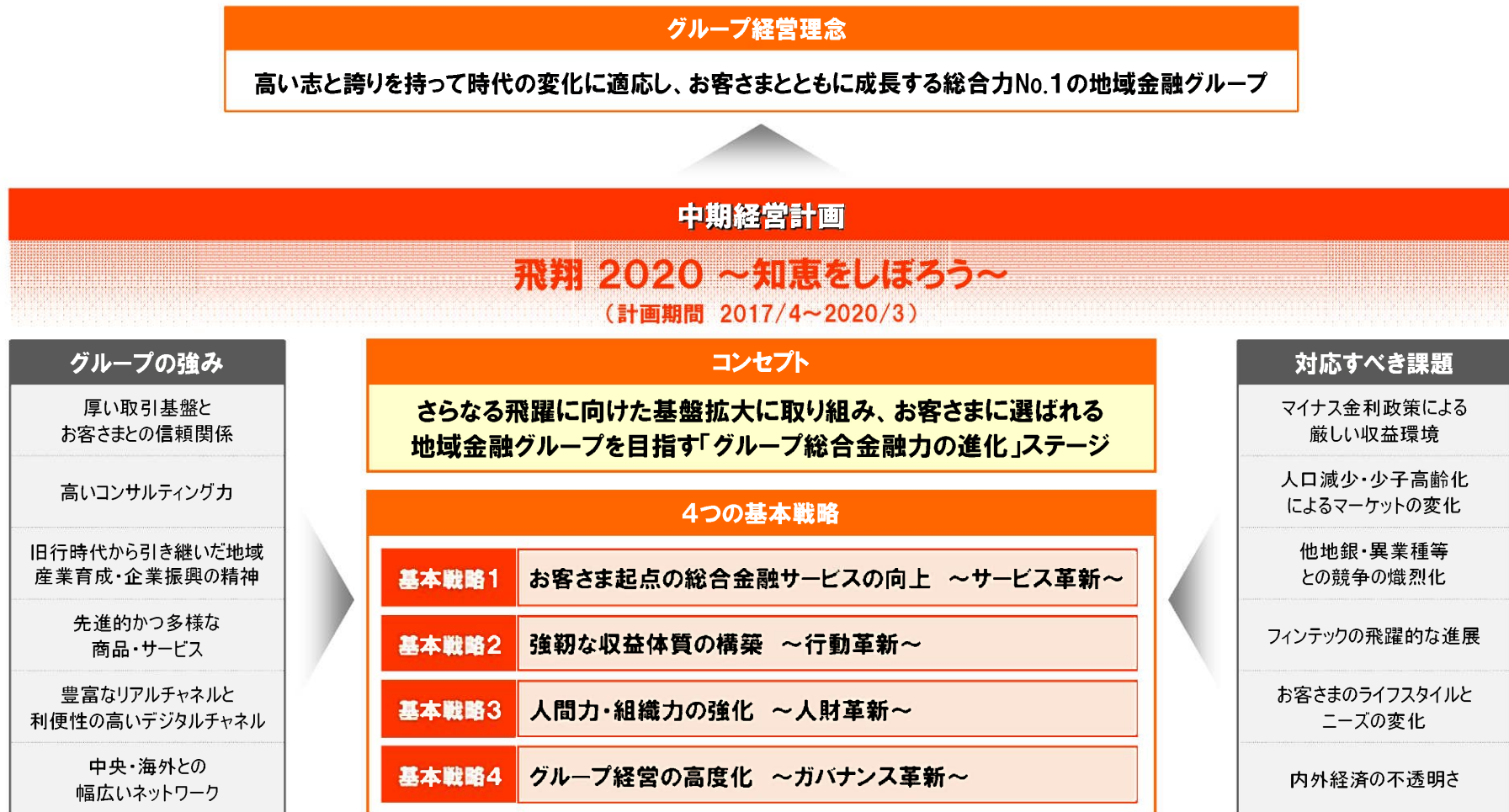
小倉駅周辺地域の再開発事業

- 北九州市JR小倉駅周辺の再開発プロジェクト。駅北側の北九州スタジアムの建設、駅南口東地区の再開発事業など。



中期経営計画「飛翔2020～知恵をしぼろう～」

- ◆ 「お客さまとともに成長する総合力No.1の地域金融グループ」となることを目指し、“グループ総合金融力の進化”に挑戦。



「ベストミックスのチャンネル」の実現

- ◆ お客さまのライフスタイルや多様なニーズに応じた最適なチャンネル(ベストミックスのチャンネル)を構築し、“一人ひとりのお客さまの成功体験・感動体験”の創造を図る。



「まるごとサポート店舗」の展開

- ◆ 多様化・高度化するお客さまの金融ニーズにお応えするため、総合金融サービスをワンストップで提供する“まるごとサポート店舗”を展開。

2018年1月末 **8店舗**
(二日市・下関・宮崎・熊本・春日・室町・千早・北九州)

- ◆ 2017年11月6日、北九州における戦略拠点として「西日本FH北九州ビル」をオープン。

西日本FH北九州ビル



住所	北九州市小倉北区鍛冶町1丁目5番1号
営業時間	北九州営業部 [平日] 9:00~15:00
	ATMコーナー [平日] 7:00~23:00 [土日祝日] 8:00~21:00
	全自動貸金庫 [平日] 9:00~17:00

ビルのデザイン

- 北九州を代表する材料“鉄”をメインに、コンクリート、煉瓦などを採用し、「ものづくりの町・北九州」を表現。

建物概要



総合金融サービス

銀行	西日本シティ銀行
証券	西日本シティTT証券
保険	西日本ユウコー商事
リース	九州リースサービス



NCB創業応援サロン

- 創業カウンセラーによる創業コンサルティング、起業家同士の交流拠点。



NCBプレミアラウンジ

- ゆったりした空間の中、相続や事業承継等に関するご相談に応じる特別なラウンジ。



NCB街かどギャラリー

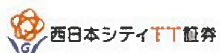
- 北九州の歴史、祭り、イベント等、さまざまな情報を発信。

お客さまの資産形成等への取組み

◆ グループ総合金融力でお客さまの大切な資産をトータルコンサルティング。



銀証連携の強化



西日本シティ証券の広域展開

- 九州一円で19拠点を展開する広域の銀証連携ネットワークを形成(2018年1月末現在)。



お客さま本位の業務運営態勢の構築



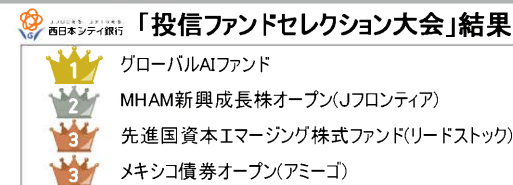
「お客さまの資産運用及び資産形成に関わる業務の基本方針(フィデューシャリー・デューティーに関する基本方針)」の制定 [2017年6月]

- 「お客さま本位の業務運営態勢の構築」、「お客さまにとって最適な商品・サービスの提供」、「お客さまに対する情報提供の充実」に関するグループの方針を定め、お客さま本位の業務運営を徹底。

お客さまのご意見を反映した商品の提供

「投資信託ファンドセレクション大会」の開催

- 新たに取り扱うファンドをお客さまの投票によって決定するコンテストを開催(2017年11月9日)。得票率上位4ファンドを採用し現在取扱い中。



安定的な長期資産形成に向けた商品の提供

個人型確定拠出年金「恋するiDeco」、「つみたてNISA」の取扱い

- 資産形成層のお客さまへ、良質な金融資産の安定的形成に向けた長期・積立・分散投資型の商品をラインナップ。



◆ お客さまの大切な資産を遺すため、最寄の支店及び専門チャンネルで親身にサポート。



相続等の相談受付態勢



「プライベートバンキング部」

- お客さまの相続・事業承継等のニーズに対し、より専門性の高いサービスを提供する専門部署。

「NCB相続プラザ」 (福岡市(NCB大名支店ビル4F))

「NCBプレミアラウンジ」 (北九州市(西日本FH北九州ビル4F))

- 知識・経験が豊富な“相続のプロ”が常駐し、相続に関する基本情報のご提供から備えるためのアドバイスまで、トータルサポートを行う相続コンサルティング専門拠点。



NCB相続プラザ相談ブース

「NCBアルファ六本松出張所(愛称: ワンクカフェ)」

(福岡市(九州大学六本松キャンパス跡地))

- 「シアトルズベストコーヒー & サブウェイ」とコラボレーションし、ロボット「ペッパー」や「タブレットテーブル」等のICT技術を導入した新形態の店舗。相続をはじめ、お金に関する様々なご相談に対応。



カフェと併設するレイアウト

相続に関する手続きをトータルサポート

「相続まるごとサポート」

- 相続発生前の準備から発生後の手続きまで、外部アライアンス先と連携しながら、お客さまの多様なニーズをサポート。

相続発生前(準備)

遺言書の作成

遺言信託業務

- ✓ 次の世代へスムーズにつなぐための遺言書。準備から執行までをお手伝い。

生命保険の活用

生命保険商品のご案内

- ✓ 自身のお金に宛名をつけておくことができる保険の活用方法をご案内。

生前贈与の利用

生前贈与関連サービス

- ✓ 相続税の負担が軽減できる生前贈与預金などのサービスをご提供。

相続発生後(相続手続き)

遺言書の
確認

相続人の
確認

相続財産
の把握

遺産分割
協議書の
作成

相続税の
申告・納税・
名義変更

相続人確定サービス

- ✓ 関係者全員の戸籍の収集を代行し相続人の確定をサポート。

遺産整理業務

- ✓ 相続財産の調査から名義変更等までを相続人に代わってお引き受け。

相続手続代行サービス

- ✓ 相続手続きに必要な名義変更等を代行。

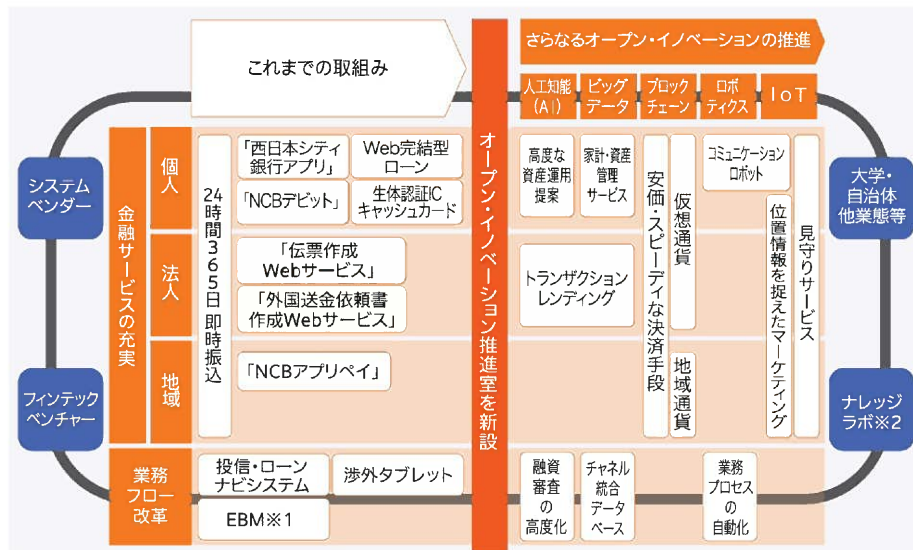
◆ 先進的な金融サービスの提供に向け、新たな領域へ挑戦。

さらなるオープン・イノベーションの推進



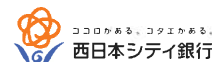
オープン・イノベーション推進への取組み

- 2017年4月、オープン・イノベーション(外部企業等との連携・協働)に関する企画をグループ一元的に行う専門部署として「オープン・イノベーション推進室」を設置。
- 外部アライアンス先等と協働し、お客さまの利便性の向上に資する金融サービスの充実をはじめ、幅広い領域で先進的な取組みを推進。



※1 EBM…Event Based Marketingの略。お客さまの取引や属性の変化(=イベント)を捉え、そのニーズに的確に対応していくマーケティング手法。
 ※2 ナレッジラボ・地銀9行がマーケティングデータベースを共有し、モデル開発・人材育成・ノウハウ共有を行う組織。

新たなサービスの実用化に向けて



一般消費者を対象とした商業施設での実証実験は九州地銀初

「スマホ決済サービス」の実証実験

〔2018年2月26日～3月18日〕

- 銀行口座を利用したスマホ決済サービスの実証実験をキャナルシティ博多で実施。



サービス導入のメリット

利用者	<ul style="list-style-type: none"> ● 現金やカードを持ち歩かなくても、スマートフォンさえあれば決済が可能となる。 ● 一度登録すれば、決済の都度、口座番号を入力する必要がなく、さらに、指紋認証や暗証番号等でセキュリティーを担保するため、使い勝手を損なわず安心して利用できる。
加盟店	<ul style="list-style-type: none"> ● クレジットカードを持たない(又は持てない)利用者層等、幅広い消費者層に対し、新たなキャッシュレス決済手段の提供が可能となり、消費者の囲い込みや業務の効率化が期待できる。 ● 決済関連サービスやポイントサービスを含めた総合的なスマホ決済サービスを利用をすることで、顧客接点の強化や売上拡大が期待できる。

スマホアプリ機能の高度化

◆ 先進的なサービスメニューで新たな価値を提供。

2018年2月26日現在 **34万ダウンロード**



グラフ表示で
日々のお金の動きも
らくらくチェック！



2017年	ご入金合計	272,319円
02月	ご入金合計	390,128円

スマホのカメラを使って
税金を簡単にお支払い！

全国初

NCBアプリペイ

アプリにご登録の口座から税金のお支払いができます。口座番号がお済みでない方はご登録をお願いします。

アプリペイで支払う

お支払いの流れ

進化し続ける「西日本シティ銀行アプリ」

- 地銀初のスマホアプリ(2015年3月30日取扱開始)。残高照会等の「バンキング機能」と位置情報を利用した「プッシュ通知機能」の双方を搭載。
- 2017年8月のバージョンアップにより、「トップ画面」のリニューアル、「残高・明細画面」の改善を行い、さらに利便性が向上。
- 本アプリを標準モデルとして、全国の地域銀行16行※が採用(2018年1月末現在)。

※ 北海道銀行、青森銀行、岩手銀行、七十七銀行、足利銀行、横浜銀行、北越銀行、長野銀行、北陸銀行、福井銀行、静岡銀行、京都銀行、池田泉州銀行、鳥取銀行、四国銀行、西日本シティ銀行

信頼 - Trust -

地域密着 - Community -



ダウンロードはこちら

Android
の方はコチラ



iPhone
の方はコチラ



口座に入出金が発生したら、
通知でお知らせ！



「アプリ利用者限定」のキャンペーンやクーポン等、おトクな情報をご提供！

お知らせ

新生活応援キャンペーン

アビスパ福岡応援キャンペーン



創業支援等への取組み

◆ 創業支援は、当社グループの歴史の原点であり、全役職員にとっての誇り。長らく受け継いできた「中小企業育成のDNA」を日々、進化させ、目利き力を磨き続けている。



創業支援機能のさらなる拡充

「NCB創業応援サロン」の設置 [福岡:2016年2月、北九州:2017年11月設置]

- 創業時の事業計画の作成、事業資金のお借入れ及び創業後の課題までご相談に応じることに加え、創業に関するセミナーや創業者交流会を開催する等、地域の創業者を応援する、創業者のための相談・交流拠点。小口事業資金相談窓口「ビジネスサポートセンター(BSC)福岡」、「BSC北九州」に併設。
- 本サロンには、創業支援に関する専門スタッフである「創業カウンセラー」を配置。

サロン来訪者累計(2018年1月末) **2,889名**、創業カウンセラー(2018年1月末) **26名**

創業・第二創業(新事業)支援実績※

	2015年度	2016年度	2017年度 (4月~1月累計)
融資件数	2,056件	2,214件	1,778件
融資金額	915億円	846億円	559億円

※ 創業後5年までのお取引先に対する支援実績

「Fukuoka Growth Next」での事業展開 [2017年4月開始]

- 福岡市の官民協働型スタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next」にて事業を展開。
- 各種イベントやコンテスト、実証実験、Fintechの動向などに関する情報発信、相談会の開催などを実施。



積極的なファンド運営

「九州6次化応援ファンド」 [2013年4月開始]

投資実績(2018年1月末)
11件・722百万円、地銀No.1

- 6次産業化に積極的に取組む農林漁業者を支援するファンド。2013年9月に出资方式した本ファンド第1号は、6次産業化ファンド全国初の取組み。
- 農林漁業成長支援機構(A-FIVE)との共同出資により設立。運営・管理はNCBリサーチ&コンサルティング。

「QBファンド」 [2015年9月設立]

投資実績(2018年1月末) **10件**

- 九州大学をはじめ、九州の大学が有する知的財産の事業化を支援するファンド。
- (株)産学連携機構九州(九大の特定関連会社)や地域の事業会社等との共同出資により設立。

地元企業の上場支援

証券取引所との連携協定

- 地域経済活性化・発展に寄与することを目的に、2017年11月、福岡証券取引所と同年12月には、東京証券取引所と連携協定を締結。

市場に関する連携基本協定



東証との連携は九州地銀初



清田 瞭 日本取引所グループ代表執行役員グループCEO(左)と固い握手を交わす谷川頭取(右)

「中小企業育成のDNA」の承継(経営者賞)

- ◆ 公益財団法人・経営者顕彰財団を通じて、約半世紀にわたり、地域経済の発展に顕著な実績を挙げた優れた経営者を表彰。
- ◆ 受賞者が経営する企業には、上場企業へと成長した先も多い。

上場企業へと成長した主な受賞企業

表彰回	表彰年度	企業名	上場取引所
第2回	1974年度	ロイヤル(株)(現:ロイヤルホールディングス(株))	東証1部・福証
第2回	1974年度	(株)長府製作所	東証1部
第7回	1979年度	大石産業(株)	福証
第7回	1979年度	(株)ナフコ	JASDAQ
第10回	1982年度	(株)善隣(現:(株)ゼンリン)	東証1部・福証
第19回	1991年度	北九州コカ・コーラボトリング(株)(現:コカ・コーラボトラーズジャパンホールディングス(株))	東証1部・福証
第24回	1996年度	(株)ピエトロ	東証1部
第26回	1998年度	(株)梅の花	東証2部
第28回	2000年度	第一交通産業(株)	福証
第35回	2007年度	コカ・コーラウエストホールディングス(株)(現:コカ・コーラボトラーズジャパンホールディングス(株))	東証1部・福証
第44回	2016年度	(株)力の源ホールディングス(一風堂)	マザーズ



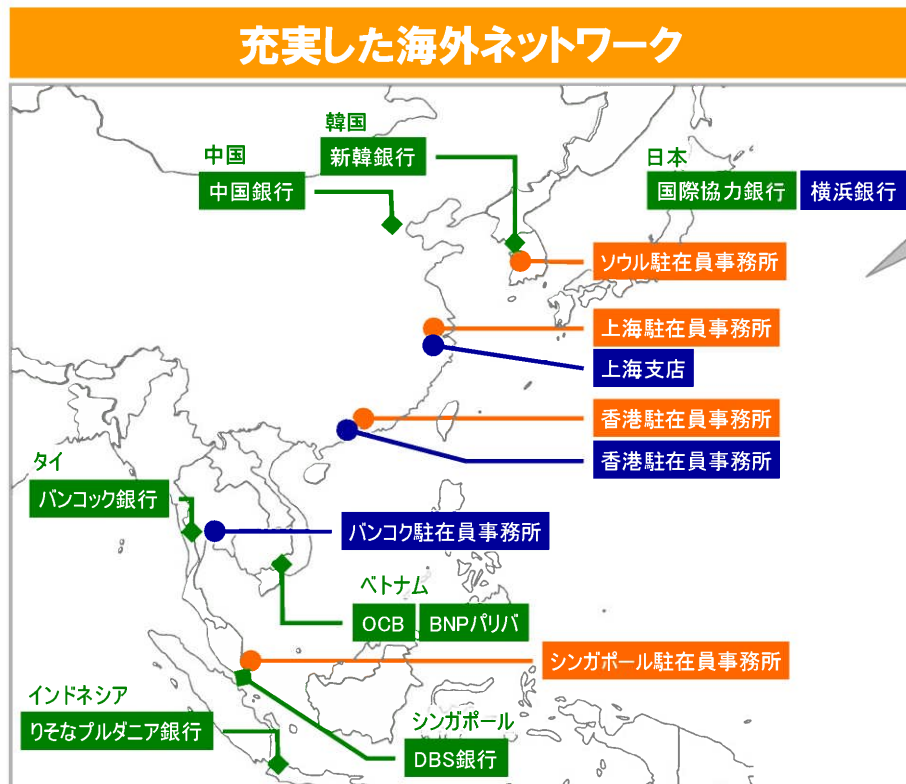
第2回1975年度(昭和49年度)受賞者
後列左から、川上米男(株)長府製作所社長、三井考昭(株)三井工作所(現:(株)三井ハイテック)社長、松島秀雄(株)松島機械研究所(現:(株)マツシマメジャテック)社長、江頭匡一(株)ロイヤル(現:ロイヤルホールディングス(株))社長、長谷川才蔵(株)長谷川仏壇店(現:(株)はせがわ)社長、一人おいて、西田誠(株)西田鉄工(株)社長



第44回2016年度(平成28年度)受賞者
左から、河原成美(株)力の源ホールディングス会長兼CEO、黒木敏之(株)黒木本店社長、高木不二男(株)BICホールディングス・(株)ダリア会長(代理 中野幸広(株)ダリア副社長)

きめ細かな国際ビジネス支援サービスの提供

- ◆ 充実した海外ネットワークを活用し、グループを挙げてお取引先の国際ビジネスをきめ細かにサポート。



西日本シティ銀行

4駐在員事務所

横浜銀行

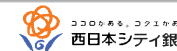
アジア3拠点、ロンドン、NY

提携金融機関

海外7社、国際協力銀行

豊富な国際ビジネス支援窓口

国際部 国際ビジネス支援室

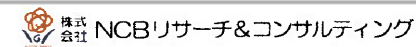


- 専門的なスキル・ノウハウを有するスタッフによる支援。

World Business Square

- 店舗に展開する専門窓口(2018年1月末現在16か店)。
- 外国為替取引の相談・受付ほか、海外ビジネスをトータルにサポート。

国際コンサル室



- アジアの最新情報に精通したスタッフ。
- 外部のサポート企業と連携により、きめ細かなソリューションを提供。

さらなる国際ビジネス支援態勢の強化



横浜銀行との海外業務連携 [2016年9月]

- 相互のお取引先の海外ビジネス支援を強化するため、「海外ビジネス支援業務における基本合意書」を締結。

東南アジア最大の銀行・DBS銀行と提携 [2017年5月]

- DBS銀行が持つ幅広いネットワークと中小企業向け金融サービス・ノウハウを、アジアビジネスを展開するお取引先に提供可能に。



Sim S Lim DBS銀行グループ
エグゼクティブ(左)と谷川頭取(右)

◆ 地方自治体や大学等と密接に連携し、地域活性化のため、「地域まるごとサポート」を展開。



地方自治体等との連携

北九州市

〔2017年4月〕

- 北九州市・SanSan株式会社と「市内事業者の労働生産性向上促進及び障がい者就労支援に関する協定書」を締結。



左から、川本副頭取、福岡圭SanSan(株)取締役、北橋健治北九州市長

宗像市

〔2017年5月〕

- 宗像市・宗像市商工会と「宗像応援ファンドに係る連携及び協力に関する基本協定書」を締結。



左から、花田省蔵宗像市商工会会長、谷井博美宗像市長、高田副頭取

〔2017年8月〕

- 宗像市と「宗像市空家等対策推進連携協定書」を締結。

糸島市

〔2017年5月〕

- 糸島市・国立大学法人九州大学・セトル株式会社と「地域の国際化に関する協定」を締結。



左から、久保千春九州大学総長、月形祐二糸島市長、一尾泰嗣セトル(株)社長、谷川頭取

地方創生に関する包括協定

- 2015年6月以降、13の地方自治体と締結。

	自治体名	締結日
①	福津市	2015年6月
②	須恵町	2015年8月
③	中間市	2015年12月
④	福智町	2015年12月
⑤	福岡県	2015年12月
⑥	みやこ町	2015年12月
⑦	久留米市	2016年2月
⑧	日田市	2016年2月
⑨	糸田町	2016年2月
⑩	那珂川町	2016年3月

	自治体名	締結日
⑪	田川市	2016年10月
⑫	唐津市	2016年10月
⑬	鳥栖市	2016年11月



小川洋福岡県知事(左)と谷川頭取(右)

大学との連携

産学連携協力に関する協定

- 2008年3月以降、10の大学と締結。
- 本協定に基づき、各大学と連携のうえ、地域の発展と学術の振興に資する各種取組みを実施。

	大学名	締結日
①	福岡大学	2008年3月
②	福岡工業大学	2008年7月
③	西南学院大学	2008年9月
④	西日本工業大学	2008年11月
⑤	保健医療経営大学	2008年12月

	大学名	締結日
⑥	九州産業大学	2009年3月
⑦	九州工業大学	2010年3月
⑧	中村学園大学	2010年10月
⑨	九州大学	2014年3月
⑩	久留米工業大学	2013年2月

地域応援私募債「つなぐココロ」

◆ 2017年2月、地域応援私募債「つなぐココロ」を取扱開始。



地域応援私募債「つなぐココロ」

九州地域の未来を担う子どもたちの学びや成長を支援するため、西日本シティ銀行が寄付金を拠出し、地域の学校等へ図書やスポーツ用品等の物品を寄贈する機能を付した社債。



多彩な地域貢献活動

◆ 地域に根ざした様々なCSR活動を積極的かつ継続的に実施。

2017年度の主な取組み

博多どんたく港まつり



〔5月〕 職員がパレードに参加。本店前特設ステージでは演技やパフォーマンスを披露。

「日本の神様と舞い踊ろう ～地域に根付く神楽と神舞～」



〔11月〕 大濠公園能楽堂で、伝統行事として地域で継承されている「神楽」や「神舞」を紹介。

金融リテラシー教育



お金のがっこう



おしごとワクワク探検



ながさきサマースクール

〔7・8月〕 職員が講師となり、地域の子どもたちにお金や銀行に対する学び・体験の場を各地で提供。

NCB音楽祭



〔12月〕 第一部は、職員と市民の方々の混声合唱団による「第九」の合唱、第二部は、地元九州にゆかりのある一流の音楽家による演奏・歌唱。

地域のクリーンデー



〔10月〕 職員が、地域の皆さまとJR博多駅周辺を清掃。



〔随時〕 職員が、西日本シティ銀行と長崎銀行の店舗周辺や商店街等を清掃。

新春経済講演会



〔1月〕 久保田会長が「2018年 経済・金融の見通し～世界、日本、そして九州～」をテーマに、最新の経済・金融情報を発信。2008年より継続開催中。

◆ 「銀行業とはつまるところ人であり、心である」との信念の下、「人間力」の向上を図るとともに、全職員が一丸となって十分に力を発揮できる態勢づくりに注力。

「ココロ館」オープン



優れた「人間力」を持つプロフェッショナルな人財の育成拠点(2017年3月オープン)。研修所・社員寮・体育館が一体となった総合施設。



全ての女性が輝く銀行を目指して

- 女性自身が働き甲斐を感じ、活き活きと働く職場・企業風土の構築に向けた施策を積極的に展開。

〔西日本シティ銀行は、2009年9月に厚生労働省より「均等・両立推進企業表彰均等推進企業部門 福岡労働局長優良賞」、2015年1月に、福岡県より「福岡県子育て応援宣言企業・事業所知事表彰」を受賞。
長崎銀行も、2015年10月に厚生労働省より「平成27年度均等・両立推進企業表彰 長崎労働局長優良賞」を受賞。〕

女性活躍推進への施策

管理職への登用 [2018年1月末現在]

- 社外取締役1名、執行役員ブロック長1名、本部長3名、支店長クラス4名、その他管理職106名。

「NCB女性塾」

- 女性行員のネットワーク形成の場。ロールモデルとの意見交換、異業種交流会などを実施。

「女性マネジメント研修」

「女性キャリアアップ研修」

- 経営職や管理職に向けてのスキルアップや意識改革を目的とした研修。

今は様々な分野でキャリアが積める時代。活躍の場は誰にでもあります。自分の頑張りやすい頑張り方で。



清田執行役員西新町支店長
(福岡西ブロック長)

たとえそれがやりたいと思っていた仕事ではなかったとしても、まずは挑戦してみることに。努力は絶対に無駄にはなりません。



伊東融資統括部長

人間力とは

金融人として優れた能力を有するだけでなく、相手を思いやり、その心に共感することのできる豊かな人間性を備えていることを指します。人間力を有する人は、お客さまや同僚・上司・部下など周りの人々と心を通わせ合い、相手のために何ができるのか、何をなすべきかを常に自ら考えます。

組織力とは

組織で共有する目的の実現に向けて、各人が使命感を持って自身の役割を果たすとともに、相互に協力・信頼し合うことにより発揮されるチームとしての力。



(当社グループ「BRAND BOOK 2020」抜粋)

目指す経営指標

- ◆ 当社グループが一丸となって「さらなる飛躍に向けた基盤拡大」と「グループ収益構造の革新」に取り組み、中期経営計画で掲げる以下の経営指標の達成を目指す。

	2017/3期 実績	2020/3期 目標
連結当期純利益	222億円	230億円以上
連結非金利収益比率 ^{〔注1〕}	19.7%	22%以上
預り資産残高 ^{〔注2〕}	9,577億円	1兆1,700億円以上 (2017/3月期比+22%)
個人コア先 ^{〔注3〕}	2,089千人	2,300千人以上 (2017/3月期比+10%)
法人コア先 ^{〔注3〕}	96千先	10万先以上 (2017/3月期比+10%)

〔注1〕 非金利収益(役務取引等利益+特定取引利益+その他業務利益-国債等債券損益)÷コア業務粗利益

〔注2〕 2銀行(西日本シティ銀行、長崎銀行)の投資信託と保険+西日本シティTT証券の預り資産

〔注3〕 グループ各社において中核となるお取引をいただいているお客さまの総数(単純合算)

当社設立(2016年10月)以降の株価推移



主要指標

1株あたり予想利益(EPS)

129.1円

※ 連結当期純利益予想 ÷ 自己株式を除く株式数(2018年2月7日の自己株式取得を勘案)。

株価収益率(PER)

9.9倍

※ 2018年3月9日株価 ÷ 上記EPS。
※ 2018年1月末時点の東証上場銀行業平均は12.0倍。

1株あたり純資産(BPS)

3,380.4円

※ 2017年12月末純資産(非支配株主持分を除く) ÷ 自己株式を除く株式数(2018年2月7日の自己株式取得を勘案)。

株価純資産倍率(PBR)

0.38倍

※ 2018年3月9日株価 ÷ 上記BPS。
※ 2018年1月末時点の東証上場銀行業平均は0.5倍。

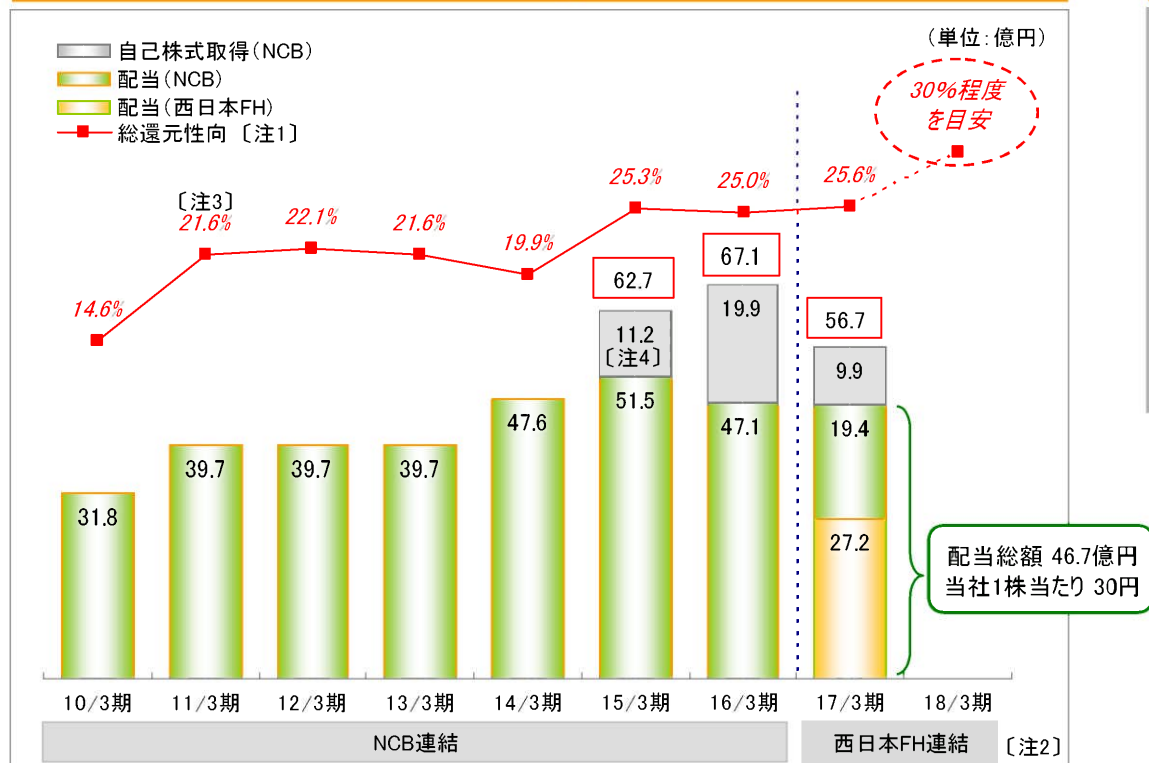
配当利回り

1.96%

※ 上記1株あたり年間配当予想 ÷ 2018年3月9日株価。

- ◆ 2018年1月26日、株主の皆さまへの利益還元のさらなる強化を図るため、総還元性向の目安を、親会社株主に帰属する当期純利益の「25%程度」から「30%程度」へ引き上げ。

利益還元額と総還元性向



西日本FHの株主還元方針

- 銀行持株会社の公共性と経営の健全性維持の観点から、適正な内部留保の充実による財務体質の強化と株主の皆さまへの安定的な配当の継続実施を基本方針とする。
- 具体的には、
 - ① 1株につき年間25円の安定配当をベースに、
 - ② 親会社株主に帰属する当期純利益に対する総還元性向30%程度
 を当面の目安とし、その時々々の経済情勢や財務状況、業績見通し等も勘案しつつ、各期の還元内容を決定する。

[注1] 総還元性向 = 利益還元額(配当 + 自己株式取得) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益 × 100

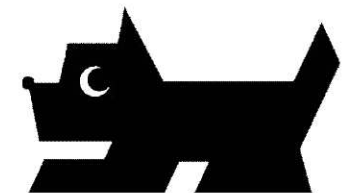
[注2] 2017年3月期は、西日本FH(2016年10月3日設立)を親会社とするグループ連結。

2016年3月期以前は、西日本シティ銀行を親会社とするグループ連結。

[注3] 2011年3月期の総還元性向は、親会社株主に帰属する当期純利益から分割子会社解散要因(350億円)を控除して算出。

[注4] 2015年3月期に取得した49.9億円から、子会社2社の完全子会社化のための株式交換に用いた38.7億円を除く。

参考資料



各種提供情報番組のご案内

- ◆ 地域の“元気”をご紹介するTV番組をお届けしています。



志、情熱企業

毎週土曜日 18時50分～18時54分(RKB毎日放送)

特徴ある技術力やノウハウ等を持ち、未来に飛躍する地元企業の志と情熱を紹介しています。



アジアへの扉

毎週日曜日 17時25分～17時30分(TNCテレビ西日本)

地元九州からアジアビジネスにチャレンジした企業の経緯や特色などを紹介し、海外進出のヒントや有力な情報を提供しています。



温故知新「発見！九州スピリット」

毎週土曜日 22時59分～23時05分(KBC九州朝日放送)

進取の気性に富んだ九州人スピリットをテーマに、意外に知られていない人物、出来事、祭などを幅広い分野で取り上げ「知らなかった九州」を紹介しています。

各種SNSのご案内

◆ お客さまのお役に立つ情報をお届けしています。

Twitter

西日本シティ銀行【公式】
https://twitter.com/ncbank_official

西日本シティ銀行の取組み、商品・サービス、各種セミナーやイベントなど、お客さまのお役に立つ情報を配信しています。



Facebook

西日本シティ銀行
<https://www.facebook.com/ncbankofficial>

西日本シティ銀行の取組み、商品・サービス、各種セミナーやイベントなど、お客さまのお役に立つ情報を配信しています。



YouTube

西日本シティ銀行
<https://www.youtube.com/channel/UC7PZQ28EdriH6395hmuMxuA>

西日本シティ銀行の商品・サービスのCM、Web限定の動画などを公開しています。



LINEスタンプ提供中!

企業イメージキャラクター「ワンク」のLINEスタンプを提供しています*。
デザインスタジオ「GROOVISIONS」がデザインした、シンプルで愛らしいスタンプです。
※ 1セット40種類。LINE STORE又はLINEアプリ内のスタンプショップで「GROOVISIONS」が販売しています。



- 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正または変更されることがあります。
- 本資料には将来の業績に係る記述が含まれていますが、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
- 将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。
- 本資料の全部又は一部を当社の承諾なしに転写・複製し、又は第三者に伝達することはできませんのでご注意ください。

本資料に関するご照会先

株式会社西日本フィナンシャルホールディングス
経営企画部 企画財務グループ
電話 092-461-1852
FAX 092-476-2549
H P www.nnfh.co.jp

